

## 2023（令和5）年度 清教学園幼稚園 園評価

### 1 めざす幼稚園像

「一人ひとりの賜物を生かす」愛ある教育  
「神なき教育は 知恵ある悪魔をつくり 神ある教育は 愛ある知恵に人を導く」 → めざす子ども像「神様と人々に愛される子ども」  
イエスさまの愛の教えに基づき、神様に愛されている子どもたち一人ひとりを大切に育てていくことを教育の基本とします。  
・楽しい表現活動や英語活動を通して、創造力と国際感覚を豊かに育てます。  
・栽培活動や徒歩通園を通して、自然とのかかわり、交通安全、たくましい心と身体を育てます。

### 2 中期的目標：教育計画における重点項目

保育・教育の質向上  
◆清教型プロジェクト保育（設定されたテーマに沿って、園児が主体的に学ぶことを重視した教育保育手法）を実践し、下記の成長目標を目指す。  
・自分が愛されていることを知り、周りの人たちも思いやれる子ども  
・自分の思いや考えを豊かに表現できる子ども  
・たくましい心と体を持ち、色々な事にチャレンジすることができる子ども

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析							学校評価委員会からの意見		
○各部門に関するアンケート結果（対象者：保護者、前年度（68,9%）回答率 65,2%）							<p>学校法人清教学園評議員会をもって学校関係者評価委員会とする。なお、評議員の選定は、寄附行為に基づき、学識経験者、学園卒園生、および学園教職員の3つの枠を設けた上で行われている。</p> <p>2023（令和5）年度については、2024（令和6）年3月23日に学校関係者評価委員会を開催。</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語 C 5.0% D 4.0% とマイナス評価のボリュームがあるため、具体的ご指摘はどのような内容か確認し、改善に繋げていく必要がある。</li> <li>・過年度の反省を良い形で改善されている努力が見える結果となっていると拝察します。今後もミッション・ステートメントを大事にしながら、さらに良い教育を提供していただければありがたく存じます。</li> <li>・概ね高い評価となっており、園の努力が結果に結びついているものと思われる。引き続き教育・保育の内容や環境の改善・充実に努めていただきたい。</li> <li>・全体的に高い評価が並んでおり、園に対する信頼感や安心感が感じられる。特に、各項目ともB評価よりもA評価の数が圧倒的に多くなっているのがよい。</li> <li>・保護者との情報共有に関する項目が前年度より評価を下けているが、早速にその対策も練られており、次年度の改善目標として位置づけられていることに感心した。このアンケートがきちんと経営に活かされていることを確認できた。</li> <li>・前年度より評価が大きく上がった項目（安心して子どもを預けられる、知り合いに園を勧めたい）はいずれも総合評価にあたる項目であり、しかもなかなか評価が得られにくい項目でもあると思う。この2項目を見るだけでも、保護者の満足度が高いことが伺える。</li> <li>・清教幼稚園といえば絵画造形、と言われる時代が長く続いてきたが、最近では英語にも力を入れておられるようで、ますます地域での存在感が増しているように感じられる。これまでの強みを大切にしつつ、新たな強みとの相乗効果が生まれることを願っている。</li> <li>・保育や教育の現場に就職したい人材が減っている中で、大規模のこども園を運営されるご苦労は大きいと感じる。そういう意味において、なかなか伝えづらいことかとは思いますが、保護者に協力してもらおうこともあってよいのではないかと。例えば改善目標に挙げられている駐車マナーの改善などは、本来は園の仕事ではないと思う。駐車する側のマナーが向上していくことを願ってやまない。</li> </ul>		
*表中の評価（満足度）は下記計算式から算出されたもの。 満足度 = 1 × A 回答数 + (2/3) × B 回答数 + (1/3) × C 回答数 + 0 × D 回答数 *評価 A,B,C,D は右記により算出（100%満点 90%以上 S 評価 80%以上 A 評価 60%以上 B 評価 40%以上 C 評価 40%以下 D 評価）									
運営	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度			評価
	保護者対応	81.4%	17.6%	1.0%	0.0%	95 %			S
	安心感	86.9%	12.6%	0.5%	0.0%	97 %			S
	保護者の要望	57.3%	34.7%	6.5%	1.5%	87 %			A
	情報共有	69.3%	25.1%	4.5%	1.0%	91 %			S
	ケガの対応	73.9%	25.6%	0.5%	0.0%	93 %			S
	相談対応	64.8%	30.7%	3.5%	1.0%	90 %			S
環境	重要事項の説明	65.3%	30.7%	4.0%	0.0%	90 %			S
	園内美化	81.4%	17.6%	1.0%	0.0%	95 %			S
	設備の充実	69.8%	28.1%	2.0%	0.0%	92 %			S
子育て支援等	安全環境の維持	78.9%	19.6%	1.5%	0.0%	94 %			S
	個人情報の取扱い	77.9%	21.1%	1.0%	0.0%	94 %	S		
	広報（HP）	82.9%	14.6%	1.5%	1.0%	95 %	S		
	子育て支援	68.8%	23.6%	7.0%	0.5%	90 %	S		
	入園への推奨	69.3%	27.1%	3.0%	0.5%	91 %	S		
<p>&lt;分析&gt;</p> <p>○運営：幼保連携型認定こども園としての運営は、総合的な満足度は高く、子どもを安心して預けることができると評価されている。今後、さらなる保育の充実と安定した事業運営を行っていく。</p> <p>○環境：全体的に高評価をいただいている。保育・教育環境は少しずつではあるが更新が進んでおり、評価を得ている。</p> <p>○子育て支援等：子育て支援にご参加いただいている方々からは高評価を得ている。親同士のコミュニティーも兼ねて参加しやすい運営を今後も目指していく。</p> <p>○教育・保育：次項「3. 本年度の取組内容及び自己評価」を参照</p>									

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	自己評価	評価指標																																																																																				
保育・教育の質的向上	◆子どもの発達段階や年齢に応じた課題を踏まえた教育・保育内容の確立	<p>《1～5歳児の保育内容の確立》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2歳児保育経験教員から初年度の反省や意見を聴取する</li> <li>・未満児、以上児の教員同士の情報共有等の場を設ける。</li> <li>・外部研修の参加促進と内容共有</li> <li>・主体的な学びに係わる研修等の実施</li> <li>・0歳児保育内容検討</li> <li>・子どもの発達状況に応じた保育の質向上・労働改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2歳児保育も2年目に突入し、初年度の経験による反省や意見を反映させながら、実施できた。次年度以降も継続して実施したい。</li> <li>・週の打ち合わせでの共有や進級時の引継等の情報共有を実施できた。また、園児の保育中の様子を長期休暇中の保育や土曜日直で見ることができた。</li> <li>・外部研修の参加はコロナ前と比較して増えてきたため、さらなる参加促進をしていきたい。</li> <li>・絵画造形教育では、プロジェクト型保育となる学び学習を取り入れた造形展の取り組みなどが実施できた。年間を通じて保育活動に学びがもたらされるように今後も実施していきたい。</li> <li>・次年度開始に向けて、各主任クラスや未満児クラスとの協議、環境整備の準備などを進めることができた。</li> <li>・園児一人ひとりの発達状況を理解し、保育活動に楽しんで取り組めるように工夫できることを協議し、実施してきた。</li> </ul>	<p>*表中の評価（満足度）は下記計算式から算出されたもの。 満足度=1×A回答数+(2/3)×B回答数+(1/3)×C回答数+0×D回答数 *評価 A,B,C,D は右記により算出（100%満点 90%以上 S 評価 80%以上 A 評価 60%以上 B 評価 40%以上 C 評価 40%以下 D 評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>A (%)</th> <th>B (%)</th> <th>C (%)</th> <th>D (%)</th> <th>満足度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通園欲求</td> <td>58.3%</td> <td>33.7%</td> <td>8.0%</td> <td>0.0%</td> <td>88 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>こども同士の人間関係</td> <td>56.8%</td> <td>39.7%</td> <td>3.5%</td> <td>0.0%</td> <td>88 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>給食の質</td> <td>63.8%</td> <td>29.6%</td> <td>6.0%</td> <td>0.5%</td> <td>89 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>キリスト教保育</td> <td>59.8%</td> <td>37.7%</td> <td>2.5%</td> <td>0.0%</td> <td>89 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>教育目標</td> <td>73.9%</td> <td>25.1%</td> <td>1.0%</td> <td>0.0%</td> <td>93 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>美術教育</td> <td>73.4%</td> <td>22.1%</td> <td>4.5%</td> <td>0.0%</td> <td>92 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>英語教育</td> <td>58.8%</td> <td>32.2%</td> <td>5.0%</td> <td>4.0%</td> <td>86 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>安全教育</td> <td>76.4%</td> <td>21.1%</td> <td>2.0%</td> <td>0.5%</td> <td>93 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>信頼関係</td> <td>82.9%</td> <td>17.1%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>96 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>74.9%</td> <td>24.6%</td> <td>0.5%</td> <td>0.0%</td> <td>94 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>個人の理解</td> <td>73.9%</td> <td>25.6%</td> <td>0.5%</td> <td>0.0%</td> <td>93 %</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;凡例&gt; 前段【自己評価アンケートの結果と分析】と同じ。</p>	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度	評価	通園欲求	58.3%	33.7%	8.0%	0.0%	88 %	A	こども同士の人間関係	56.8%	39.7%	3.5%	0.0%	88 %	A	給食の質	63.8%	29.6%	6.0%	0.5%	89 %	A	キリスト教保育	59.8%	37.7%	2.5%	0.0%	89 %	A	教育目標	73.9%	25.1%	1.0%	0.0%	93 %	S	美術教育	73.4%	22.1%	4.5%	0.0%	92 %	S	英語教育	58.8%	32.2%	5.0%	4.0%	86 %	A	安全教育	76.4%	21.1%	2.0%	0.5%	93 %	S	信頼関係	82.9%	17.1%	0.0%	0.0%	96 %	S	公平性	74.9%	24.6%	0.5%	0.0%	94 %	S	個人の理解	73.9%	25.6%	0.5%	0.0%	93 %	S
	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度	評価																																																																																	
	通園欲求	58.3%	33.7%	8.0%	0.0%	88 %	A																																																																																	
	こども同士の人間関係	56.8%	39.7%	3.5%	0.0%	88 %	A																																																																																	
給食の質	63.8%	29.6%	6.0%	0.5%	89 %	A																																																																																		
キリスト教保育	59.8%	37.7%	2.5%	0.0%	89 %	A																																																																																		
教育目標	73.9%	25.1%	1.0%	0.0%	93 %	S																																																																																		
美術教育	73.4%	22.1%	4.5%	0.0%	92 %	S																																																																																		
英語教育	58.8%	32.2%	5.0%	4.0%	86 %	A																																																																																		
安全教育	76.4%	21.1%	2.0%	0.5%	93 %	S																																																																																		
信頼関係	82.9%	17.1%	0.0%	0.0%	96 %	S																																																																																		
公平性	74.9%	24.6%	0.5%	0.0%	94 %	S																																																																																		
個人の理解	73.9%	25.6%	0.5%	0.0%	93 %	S																																																																																		
◆働きやすさと働きがいと両立するキャリアパスの確立	<p>《教職員の契約形態の見直しと適正化》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有休取得、育児休業、休憩交代、働きやすい環境の維持</li> <li>・教職員の休みが重なった時の人手不足の解消方法の検討</li> <li>・保護者の送迎や園内へ入る等の検討や対応</li> <li>・一時預かり事業一般型の始動と運営方法の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も教職員の有休取得率が高く、安心して休める環境を提供できた。</li> <li>・フリーの教員がクラスに入る等、人員配置は十分にしてきたが、休みが複数重なると厳しい状況もあったため、お互いがカバーしあえる環境と関係を今後も継続していく必要がある。</li> <li>・3学期から皆が集まり、準備が整った時点で保護者に保育室前まで入って頂くことを実施した。</li> <li>・有償クラス：スマイルから一時預かり一般型スマイルへ移行し、始動した。多くの方にご好評いただき、園での生活に慣れ、入園の際に園児の情報を共有できスムーズにクラスに入れるようにしていく。</li> </ul>																																																																																						
◆幼児から児童までの子育てをサポートする園運営と既存施設設備の有効活用	<p>《児童の学習サポートの確立》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清教キャンパスとSTEP、学習塾との連携等の検討</li> </ul> <p>《園児の支援体制の確立》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門教員から担任の先生へ保育中の関わり方やアドバイス等実情に沿った保育内容の研修や指導を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GSクラスの継続の一助として、STEPの運営を実施している。高学年になると塾への習い事を始めることから、学習塾と連携できないか話し合いはしたものの、実施までには至らなかった。</li> <li>・支援が必要な園児に対する保育の進め方や対応を支援専門の教員や補助員が協議を重ね、クラス担任と協力しながら園児に寄り添える支援体制構築を進めることができた。</li> </ul>																																																																																						
◆収支バランスの改善と新たな収支構造の確立	<p>《園児数の目標数確保及び一時預かり事業一般型の開始による収入の安定化》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり保育事業一般型を開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育一般型開始による補助金収入は大きく、収支安定化に向けて進めることができた。</li> </ul>																																																																																						

【総合評価】

1～5歳児保育教育内容の協議・検討・実施することができ、一部課題をいただいたが、保護者の方々にも満足いただける結果となった。

【今後に向けて】

新たな年齢の保育・教育を構築していく中で、園生活の大きな変化とそれに伴う教職員の働く環境の変化に注視しつつ、時代の流れに合った保育教育サービスの提供を今後も継続していく。